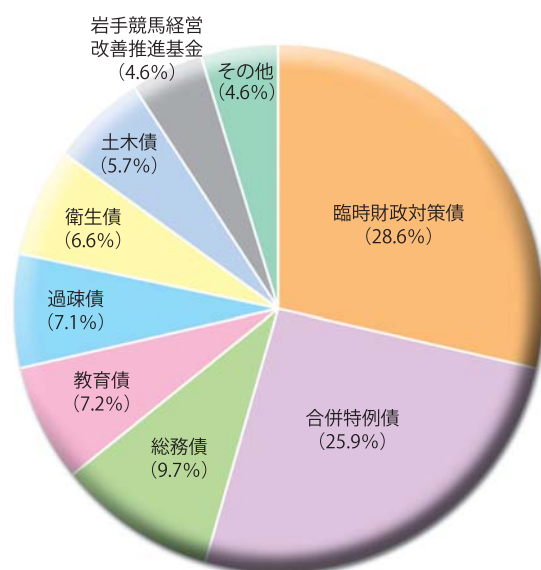


27年度一般会計、特別会計別借入金現在高見込額

(単位：万円)

区 分	現在高見込額
一般会計	801 億 1,702
特別会計	
下水道事業	240 億 2,067
農業集落排水事業	133 億 1,770
簡易水道事業	50 億 5,683
浄化槽事業	12 億 3,376
介護保険（介護サービス事業勘定）	4 億 2,593
バス事業	3,655
合 計	1,242 億 0,846

図2 借入金現在高見込額の内訳（一般会計）



※臨時財政対策債、合併特例債、過疎債などは、後年度に地方交付税措置されるため、市の実質負担は少ない

用語解説

- 臨時財政対策債＝国の地方交付税財源が不足したとき、地方交付税額を減らして、その穴埋めとして地方公共団体が借入れるお金
- 合併特例債＝新市建設計画に基づいて行う事業に借入れることができるお金
- 過疎債＝過疎地域自立促進特別法で定められた過疎地域（本市では江刺区）で行う事業にのみ借入れることができるお金
- 岩手競馬経営改善推進基金＝県競馬組合に資金を貸し付けるための基金を設置する目的で、県から借入れたお金
- 総務債＝主に庁舎建設、情報基盤の整備のために借入れるお金（市が債務保証していた土地開発公社の債務を整理するために借り入れた「第三セクター等改革推進債」を含む）

借入金は、長期にわたって使用される公共施設などを整備するためのものです。返済を長期間に分割することで、世代間の負担の公平性を保ち、財政負担を調整しています。一般会計の借入金現在高見込額は、返済よりも借入を抑え、着実に償還したことにより減少し、昨年度より2億円

以上少ない801億1702万円となりました。市民1人当たり、1世帯当たり直すと図1のようになります。昨年度と比較すると、市民1人当たりは同額、1世帯当たりでは2万円の減となりました。目的別の構成比は図2のとおりです。

■問い合わせ先 本庁財政課 財政係（内線311・323）

図1 市税、借入金の市民の負担状況



財政の「今」を公表

28年度の当初予算は、広報おうしゅう4月号でお知らせしました。今回は27年度の収入支出、市有財産、市債の状況を説明します。詳細は、本庁財政課、各総合支所総務

企画課、市ホームページで公表していますので、そちらをご覧ください。今回お知らせする財政状況は、現金の未収や未払いの整理を行う出納整理期間（4月1日～5月31日）の分を含まないため、最終的な27年度決算額ではありません。決算額は確定後にお知らせします。

市税と借入金の状況

28年3月31日現在の市税収入（個人市民税、法人市民税、固定資産税、たばこ税など）

の合計額は121億5236万円です。これを市民1人当たり、1世帯当たり直すと図1のようになります（28年3月31日現在の人口12万664人、4万4638世帯で計算。昨年度と比較すると、市民1人当たりは同額、1世

27年度一般会計、特別会計収入支出の状況

(単位：万円)

区 分	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	635 億 3,391	547 億 7,093	501 億 6,249
特別会計			
国民健康保険（事業勘定）	150 億 8,856	129 億 6,081	130 億 1,464
国民健康保険（直営診療施設勘定）	2,298	1,584	2,103
後期高齢者医療	11 億 3,169	7 億 6,663	10 億 2,530
介護保険（保険事業勘定）	109 億 4,606	85 億 6,059	96 億 9,445
介護保険（介護サービス事業勘定）	1 億 8,493	8,951	1 億 7,291
簡易水道事業	11 億 8,317	11 億 2,789	10 億 3,066
下水道事業	35 億 49	10 億 7,823	32 億 5,296
農業集落排水事業	14 億 2,132	2 億 1,588	13 億 986
浄化槽事業	3 億 3,818	1 億 4,721	3 億 836
バス事業	1 億 1,058	1,737	1 億 570
米里財産区	1,322	1,316	1,224

市有財産の状況

土地	建物	車両など	基金・有価証券
 7,760 万 3,328 ㎡	 62 万 5,144 ㎡	 538 台	 323 億 5,664 万円